



発熱 (38℃以上)

3カ月未満

3カ月～6歳

次の症状は見られますか？

- 元気がなく、ぐったりしている。
- 呼吸が荒く、苦しそう。
- 顔色・皮膚色が悪い。
- おしっこが出ない。
- ぐずって眠らない。
- 水分をとるのを嫌がる。
- 下痢や繰り返し吐く。
- せきがひどい。

症状が見られたものを
「はい」とした場合…

「はい」が

1つ以上

なし

休日夜間急患診療所を
受診しましょう。

診療時間外の場合

様子を見ながら、翌日、
かかりつけ医を受診しましょう。

症状が急変した場合

救急電話相談ダイヤルに相談しましょう。

名 称：とっとり子ども救急ダイヤル

電話番号：#8000 (ダイヤル回線・IP電話の場合は0857-26-8990)

相談受付時間：24時間365日



観察のポイント

- 子どもは、夕方から夜にかけて、発熱することが多いものです。熱があっても、いつもと同じように遊んだり、食欲もあるようなら、自宅で安静にして、様子を見ても構いません。
- 乳幼児は、普段でも体温が高めです。母乳・ミルクを飲んだ後、食後、入浴後、運動後などは、体温が高めになることがあります。体温は静かにしているときに測りましょう。



ホームケアのポイント

- 熱の出始めは手足が冷たく、寒気がして震えることがあります。寒がるときは暖かくしてあげましょう。暑がるようになったら、子どもが楽に感じる程度に冷やしてあげましょう。
- 水分補給は普段より少し多めに、こまめに与えましょう。
- 熱があっても、機嫌が良く、元気そうであれば、肌を清潔にするためにシャワーで汗を流しても構いません。湯船につかる場合は、体力の消耗を避けるため、ぬるめの湯に2～3分程度にしておきましょう。



お医者さんに伝えてほしいこと

- 「いつから」、「何℃くらいの熱が」続いているか。
- 発熱以外の症状はあるか。
(例：せき、吐く、下痢 など)
- 食事、水分はとれているか。
- おしっこは出ているか。